

交付運用報告書 2022年2月期（2021年3月1日～2022年2月28日）

i シェアーズ 米国 MBS ETF
iShares MBS ETF

米ドル建／オープンエンド契約型外国投資信託
米国デラウェア籍法定トラスト

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。
さて、i シェアーズ 米国 MBS ETF（以下「ファンド」といいます。）の受益証券は、このたび、2022年2月期の決算を行いました。ファンドの投資目的は、米国政府機関が発行および／または保証する投資適格モーゲージ・バック・パススルー証券により構成される指数に連動する運用成果を追求することです。当期につきましてもそれに沿った運用を行いました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

2022年2月末日	
1口当たり純資産価格（基準価格）	104.74 米ドル
純資産総額	24,080,623,771 米ドル
2022年2月期（2021年3月1日～2022年2月28日）	
トータルリターン	-3.15 %
1口当たり分配金額	1.107906 米ドル

（注）1口当たり分配金額は、税引前の分配金額を記載しています。以下同じです。

ファンドの運用報告書（全体版）は受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、取次証券会社までお問い合わせください。

<その他記載事項>

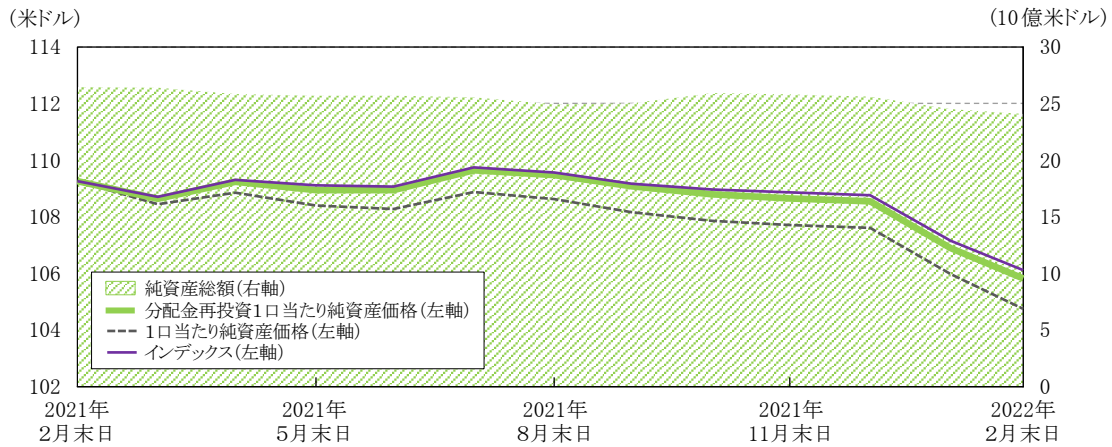
交付運用報告書および運用報告書（全体版）はブラックロック・ジャパン株式会社のウェブサイト（<https://www.blackrock.com/jp/>）の投資信託情報ページにて電磁的方法により提供しております。

トラスト：

i シェアーズ・トラスト

《運用経過》

当期の1口当たり純資産価格等の推移について



2021年2月末日現在の1口当たり純資産価格： 109.29 米ドル

2022年2月末日現在の1口当たり純資産価格： 104.74 米ドル

(1口当たり分配金額： 1.107906 米ドル)

トータルリターン： -3.15 %

- (注1) 上記のグラフは、Aladdin®システムから抽出したデータに基づき作成しています。
- (注2) 分配金再投資1口当たり純資産価格は、税引前の分配金を分配時にファンドへ再投資したとみなして算出したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。以下同じです。
- (注3) ファンドのインデックスは、ブルームバーグ米国MBSインデックス（以下「インデックス」といいます。）です。
- (注4) インデックスおよび分配金再投資1口当たり純資産価格は、2021年2月期末の1口当たり純資産価格を起点として計算しています。
- (注5) 分配金再投資1口当たり純資産価格は、各投資者の購入状況などにより課税条件が異なるため、分配金に対する税金を考慮していません。そのため、最終的な税引後の結果を示すものではありません。

1 口当たり純資産価格の主な変動要因、投資環境およびポートフォリオについて

米国債券市場概観

2022年2月28日に終了した12ヵ月間（以下「当年度」）におけるブルームバーグ 政府債／信用債指数に代表される米国政府債および高格付け社債のリターンは2.56%下落し、米国債券パフォーマンスの広範な指標であるブルームバーグ 米国総合債券指数のリターンであるマイナス2.64%をわずかに上回りました。

市場の低迷は、COVID-19による経済へのマイナス影響が支配的であった環境から、成長率の改善とインフレ率の上昇を特徴とする環境への移行を反映しています。ワクチン接種が展開され、ウイルス関連のロックダウンが徐々に緩和されるにつれて、経済成長も回復しました。米国のGDPは実質（インフレ後）ベースで、2020年のマイナス3.4%から2021年にはほぼ6%に上昇しました。しかしながら、需要の増加に対応するための商品や労働力の供給は不十分でした。こうした状況はインフレ率の急上昇につながり、コモディティ、消費財、住宅費および労働力の価格が急激に上昇しました。米国コア個人消費支出価格指数で測定されるインフレは、2021年10月に4%を、2022年1月には5%を超え、近年のレンジを大きく上回りました。

米国連邦準備制度理事会（以下、「Fed」）は当初、インフレの加速に対して金融政策の調整を行わず、この上昇傾向を「一過性のもの」としていました。実際にはインフレが続いたため、Fedは2021年11月に方針を転換し、量的緩和として知られる景気刺激策である債券購入プログラムを縮小することを発表しました。また、Fedは、利上げを開始する意向を表明しました。Fedがインフレ対策で出遅れたと感じた投資家は、即座に2022年に6回から7回もの利上げが行われる可能性を織り込み始めました。

当年度後半には、ロシアのウクライナ侵攻によって不確実性が高まり、Fedの金融引き締めの可能性に関する予想はやや後退しました。同時に、ロシアへの制裁措置によって原材料の供給がさらに制限されるとの見方から、コモディティ価格が急騰しました。そのため、2月末時点でも将来のインフレ期待は高止まりしており、高格付け債券への典型的な「質への逃避」は限定的でした。

当年度において、米国債の利回りは、価格の下落に伴い上昇しました。Fedの政策への感応度が最も高い短期債は、この落ち込みで最も大きな打撃を受けました。2年物債券の利回りは、期初時点の0.13%から2022年2月28日には1.43%に急騰しました。より長期の債券は、Fedよりも長期的な成長期待によって価格が左右されるため、相対的にはよく持ちこたえました。10年物債券の利回りは12ヵ月間で1.41%から1.83%となり、30年物債券は2.15%前後で横ばいとなりました。

投資適格社債は損失を被り、そのパフォーマンスは広範な市場を下回りました。社債は2021年の大半を通じて好調に推移しましたが、これは、投資環境が概ね良好であったために投資家がより魅力的な利回りを求めてより大きなリスクをとるようになったためです。投資家は、企業収益の上昇と、より一般的な信用状況の改善の組み合わせによっても力づけられました。これらの要因が合わさり、同等の国債に対する社債の利回りは、2021年半ばまでに世界金融危機前の低水準に回復しました。しかし、当年度の後半には、インフレ上昇と米国債利回りの上昇を受けて価格が弱含み、スプレッドが上昇し始めました。ロシアのウクライナ侵攻により投資家のリスク選好度が低下し、このカテゴリーのそれまでの上昇分が帳消しになったため、2022年初頭に社債はさらに下落しました。その結果、イールド・スプレッドは2020年後半以来の高水準で当期を終えました。

1. 運用の経過

i シェアーズ 米国 MBS ETF

2022年2月28日現在のファンド概要

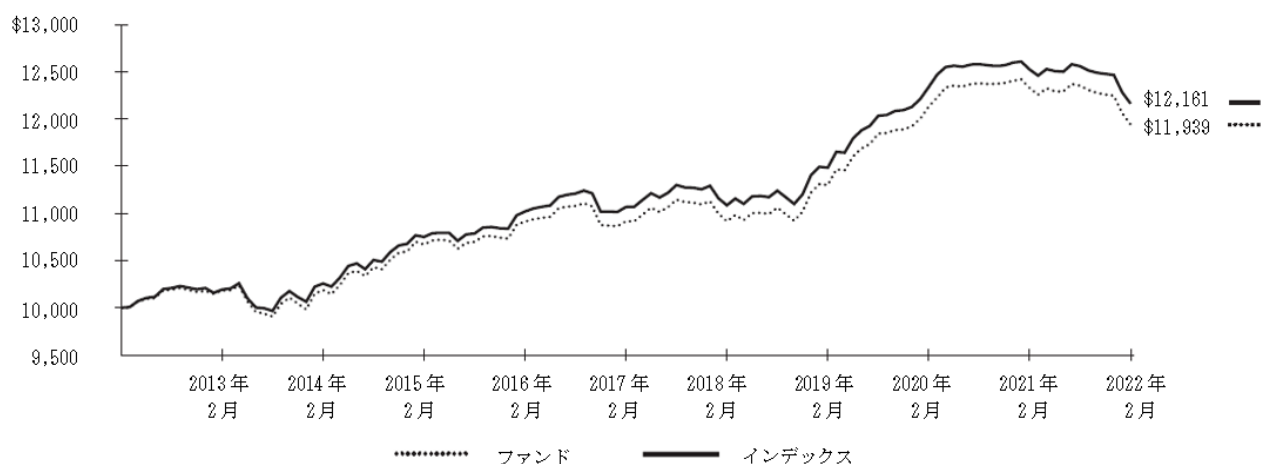
投資目的

i シェアーズ 米国 MBS ETF (以下「ファンド」) は、ブルームバーグ 米国 MBS 指数 (以下「インデックス」) (旧ブルームバーグ・バークレイズ 米国 MBS 指数) に代表される、米国政府機関が発行および/または保証する投資適格モーゲージ・バック・パススルー証券で構成されるインデックスの運用成果の達成を目指します。ファンドは、全体としてインデックスと同様の投資特性を有する、インデックスに含まれる代表的な構成銘柄を組入れています。代表的な構成銘柄の組入れにより、ファンドはインデックスに含まれる銘柄のすべてを保有する場合もあれば、保有しない場合もあります。

パフォーマンス

	年間平均トータルリターン			累積トータルリターン		
	1年	5年	10年	1年	5年	10年
ファンドのNAV	(3.15)%	1.81%	1.79%	(3.15)%	9.38%	19.39%
ファンドの市場	(3.24)%	1.76%	1.76%	(3.24)%	9.14%	19.05%
インデックス	(2.88)%	1.90%	1.98%	(2.88)%	9.89%	21.61%

10,000米ドル投資の純資産価額の推移



過去のパフォーマンスは、将来のパフォーマンスを保証するものではありません。運用パフォーマンスの結果は、ファンド受益証券の分配時あるいは償還時または売却時に受益証券保有者が支払う可能性のある税金の控除を反映していません。

費用例

実績値			5%の仮説リターンに基づく仮定値			
口座の 期首価額	口座の 期末価額	当期間の 費用 支払額 ^(a)	口座の 期首価額	口座の 期末価額	当期間の 費用 支払額 ^(a)	費用比率 (年率)
2021年9月1日 1,000.00 米ドル	2022年2月28日 966.70 米ドル	0.20 米ドル	2021年9月1日 1,000.00 米ドル	2022年2月28日 1,024.60 米ドル	0.20 米ドル	0.04%

^(a) 費用は、当期間中の口座の平均価額に、年率換算された費用比率および181/365（表示されている半年の期間を反映）を乗じたものに相当します。売買委託手数料および金融仲介業者へのその他の手数料など、上記の表や例には反映されないその他の手数料が支払われる場合があります。

ポートフォリオ情報

発行体別内訳

発行体	総投資比率 ^(a)
統一モーゲージ証券	44.9%
連邦政府抵当金庫	22.7
連邦住宅金融抵当公庫	19.2
連邦住宅抵当公庫	13.2

満期別内訳

満期	総投資比率 ^(a)
1年から5年	0.2%
5年から10年	6.0
10年から15年	9.3
15年から20年	4.5
20年から25年	14.1
25年から30年	57.5
30年から35年	8.4

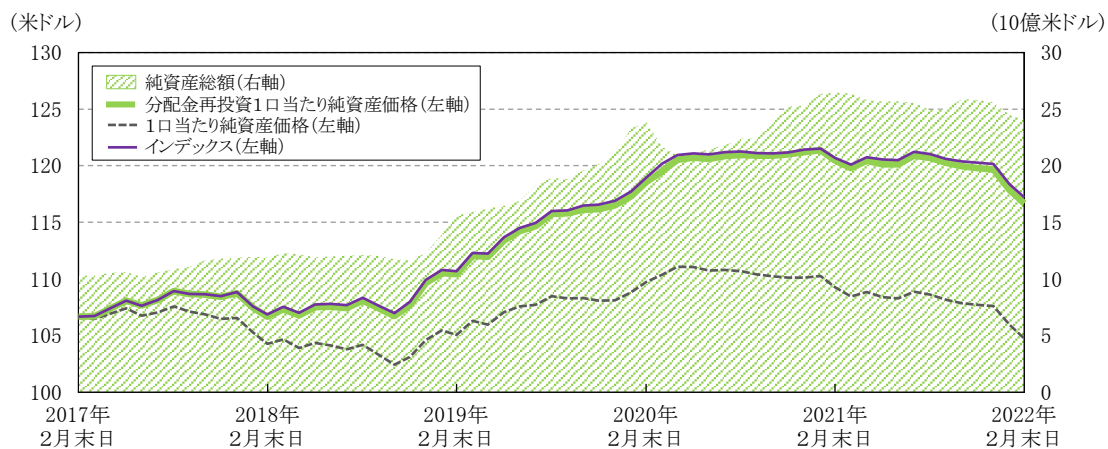
(a) マネー・マーケット・ファンドを除く。

費用の明細

項目	項目の概要		
投資顧問報酬	投資顧問報酬 (%)	平均日次純資産総額 ^(注)	ファンドに提供する投資顧問サービスの対価
	0.0400	1,210 億米ドルまで	
	0.0380	1,210 億米ドル超、1,810 億米ドル以下	
	0.0361	1,810 億米ドル超、2,310 億米ドル以下	
	0.0343	2,310 億米ドル超、2,810 億米ドル以下	
0.0326	2,810 億米ドル超		
その他の費用	0%		専門家報酬

(注) 平均日次純資産総額とは、ファンドの属する一定のファンドグループの純資産総額の日々平均残高の合計額を指し、投資顧問会社は上記の料率に従って計算される投資顧問報酬の合計額のうち、ファンドに係る割当額を受領します。

最近5年間の1口当たり純資産価格等の推移について

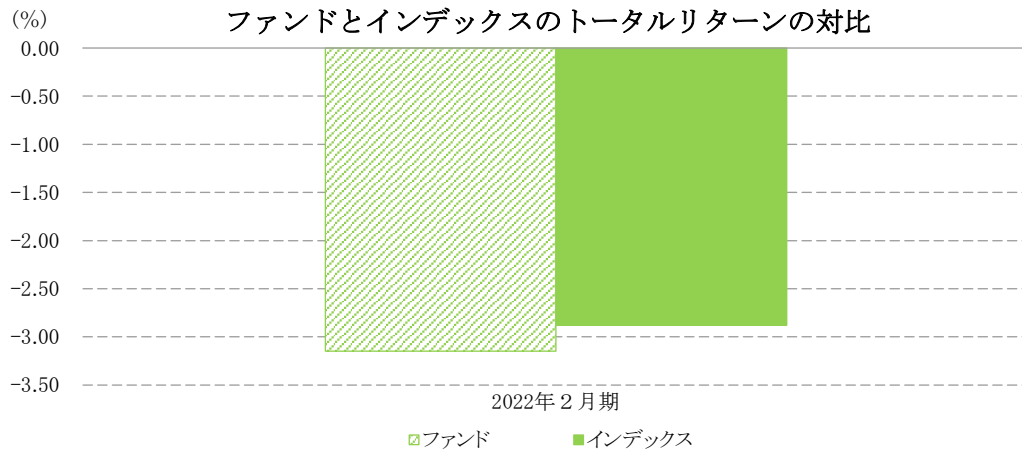


	2017年 2月末日	2018年 2月末日	2019年 2月末日	2020年 2月末日	2021年 2月末日	2022年 2月末日
1口当たり純資産価格 (米ドル)	106.68	104.27	105.07	109.75	109.29	104.74
1口当たり分配金額 (米ドル)	—	2.42609	2.802392	2.954945	2.249652	1.107906
ファンドのトータル リターン (%)	—	-0.01	3.53	7.35	1.62	-3.15
インデックスのトータル リターン (%)	—	0.16	3.58	7.45	1.49	-2.88
純資産総額 (千米ドル)	10,230,652	11,876,376	15,592,245	23,837,087	26,480,590	24,080,624

(注1) 上記のグラフは、Aladdin®システムから抽出したデータに基づき作成しています。

(注2) インデックスおよび分配金再投資1口当たり純資産価格は、2017年2月期末の1口当たり純資産価格を起点として計算しています。

ベンチマークとの差異について



分配金について

当期（2021年3月1日～2022年2月28日）の1口当たり分配金（税引前）はそれぞれ下表のとおりです。
 なお、下表の「分配金を含む1口当たり純資産価格の変動額」は、当該分配落日における1口当たり分配金額と比較する目的で、便宜上算出しているものです。

（金額：米ドル）

分配落日	1口当たり純資産価格	1口当たり分配金額 (対1口当たり純資産価格比率 ^(注1))	分配金を含む1口当たり純資産価格の変動額 ^(注2)
2021年3月1日	109.19	0.196481 (0.18%)	-0.80
2021年4月1日	108.36	0.187554 (0.17%)	-0.64
2021年5月3日	108.72	0.160133 (0.15%)	0.52
2021年6月1日	108.27	0.128146 (0.12%)	-0.32
2021年7月1日	108.20	0.096922 (0.09%)	0.02
2021年8月2日	108.94	0.080271 (0.07%)	0.82
2021年9月1日	108.55	0.073331 (0.07%)	-0.31
2021年10月1日	108.36	0.018858 (0.02%)	-0.17
2021年11月1日	107.92	0 (0.00%)	-0.43
2021年12月1日	107.74	0 (0.00%)	-0.19
2021年12月16日	107.71	0 (0.00%)	-0.03
2022年2月1日	105.69	0.16621 (0.16%)	-1.85

(注1) 「対1口当たり純資産価格比率」とは、以下の計算式により算出される値であり、ファンドの収益率とは異なる点にご留意ください。

対1口当たり純資産価格比率(%) = $100 \times a / b$

a = 当該分配落日における1口当たり分配金額

b = 当該分配落日における1口当たり純資産価格 + 当該分配落日における1口当たり分配金額

(注2) 「分配金を含む1口当たり純資産価格の変動額」とは、以下の計算式により算出されます。

分配金を含む1口当たり純資産価格の変動額 = $b - c$

b = 当該分配落日における1口当たり純資産価格 + 当該分配落日における1口当たり分配金額

c = 当該分配落日の直前の分配落日における1口当たり純資産価格

(注3) 2021年3月1日の直前の分配落日（2021年2月1日）における1口当たり純資産価格は、110.19米ドルでした。

《今後の運用方針》

引き続き、インデックスのパフォーマンスと密接に連動した投資成果を提供することを目指し、ファンドの運用を行う予定です。

《お知らせ》

該当事項はありません。

《ファンドの概要》

ファンド形態	米ドル建／オープンエンド契約型外国投資信託 米国デラウェア籍法定トラスト
信託期間	無期限
運用方針	ファンドの投資目的は、米国政府機関が発行および／または保証する投資適格モーゲージ・バック・パススルー証券により構成される指数に連動する運用成果を追求することです。
主要投資対象	ファンドは、少なくともその資産の80パーセント以上をインデックスの構成銘柄ならびにインデックスの構成銘柄の経済特性と実質的に同一の経済特性を有するTBAに投資し、さらに少なくともその資産の90パーセント以上をファンドによるインデックスの連動に資するとBlackRock Fund Advisorsが考えるインデックスに含まれるタイプの確定利付証券に投資します。
運用方法	ファンドは、米国政府機関またはスポンサー企業が発行または保証する投資適格モーゲージ・バック・パススルー証券（MBS）の実績を測定するインデックスに連動する運用成果を追求します。 BlackRock Fund Advisorsは、ファンドの投資目的を達成するために、「パッシブ」またはインデクシング・アプローチを使用します。 BlackRock Fund Advisorsは、ファンドの運用につき代表サンプリング戦略を使用します。代表サンプリングとは、全体としてインデックスの代表サンプルと類似する投資プロファイルを有する証券の代表サンプルに投資する指数戦略をいいます。
投資制限	<ol style="list-style-type: none"> 1. 投資を集中させること（すなわち、全資産の25パーセント以上を特定の産業または産業グループの証券に投資すること。）。但し、ファンドは、インデックスが特定の産業または産業グループに証券を集中させる程度とほぼ同程度に投資を集中させます。かかる制限の目的上、米国政府（その支分機関および系列機関を含みます。）の証券、米国政府証券の担保付き買戻契約および連邦または地方政府もしくはその政府当局の証券は、いかなる産業の構成員から発行されたものとして解釈されません。 2. 借入を行うこと。但し、（i）ファンドは、これを行わなければ、時機を失した証券の処分を要する買戻請求に対応するために、臨時または緊急目的（レバレッジ目的を除きます。）で銀行から借入を行うことができ、（ii）ファンドは、その投資方針と合致している限り、買戻契約、逆買戻契約、先送り取引、およびこれらと類似する他の投資戦略および技術を履行することができます。（i）および（ii）の取引を行う場合に限り、当該取引からファンドは総資産（借入額を含みます。）の33%パーセント以上を取得してはならないという制限が課されます。当該金額を超過する借入は、適用法に基づき縮減されます。 3. 優先的受益証券を発行すること。但し、米国1940年投資会社法（改正済み。）で認められているか、または、管轄権を有する規制当局が、随時、解釈、修正その他により許可する場合を除きます。 4. 貸付を行うこと。但し、米国1940年投資会社法で認められているか、または、管轄権を有する規制当局が、随時、解釈、修正その他により許可する場合を除きます。 5. 不動産、不動産抵当、商品、商品契約を売買すること。但し、かかる制限は、証券もしくはその他の証書を所有した結果として取得すること（不動産事業に従事する会社の証券または不動産もしくはモーゲージにより担保された証券もしくはその他の証書への投資を含みます。）またはファンドが先物契約および先物契約のオプションを取引すること（ファンドの投資目的および投資方針と合致している限り、為替オプションを含みます。）を禁止するものではありません。 6. 他の者が発行した証券の引受業務に携わること。但し、ポートフォリオ証券の処分により、ファンドが、厳密には、米国1933年証券法における引受人とみなされる場合を除きます。
分配方針	純投資収益からの分配金（もしあれば）は、最低でも毎年宣言され、ファンドから支払われます。証券の実現純収益（もしあれば）は、通常年に一回宣言され、支払われますが、トラストは、特定のファンドに対してより頻繁に分配を行うことができます。ファンドの登録投資会社としての地位を維持するため、または、分配されない収益に所得税もしくは消費税が賦課されることを回避するために必要であるとファンドがその合理的裁量により決定した場合、臨時分配金を宣言する権利を有します。

《ファンドデータ》

組入資産の内容（2022年2月期末現在）

組入上位資産

（注）組入上位銘柄および組入銘柄数は、ファンドのアンニュアル・レポートその他の現地開示書類において開示が行われていないため、記載することができません。組入銘柄の詳細は、運用報告書（全体版）の「IV. 投資有価証券の主な銘柄」を参照ください。

組入資産の資産別配分、国別配分および通貨別配分

（注1）ファンドの組入資産の資産別配分、国別配分および通貨別配分は、ファンドのアンニュアル・レポートその他の現地開示書類において開示が行われていないため、記載することができません。

（注2）ファンドの組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載されています。

純資産等

2022年2月期末	
1口当たり純資産価格	104.74 米ドル
純資産総額	24,080,623,771 米ドル
発行済口数	229,900,000 口

2022年2月期		
販売口数	買戻口数	発行済口数
18,200,000	30,600,000	229,900,000

本報告書に記載の「1口当たり純資産価格の主な変動要因、投資環境およびポートフォリオについて」は、ファンドのアンニュアル・レポートの該当部分の翻訳であり、本報告書と原文（英文）との間に相違がある場合には、原文（英文）の内容に従うこととなります。なお、原文（英文）の記載のうち、ファンドに関係しない部分を省略する場合があります。